

---

## ACCELL/SQL Releases 7.0B - 8.2 の

### 新機能と変更点

---

## Release 8.2 での新機能

以下のテーブルは、ACCELL/SQL Release 8.2 で追加された機能を示したものです。ACCELL/SQL Release 7.0 から 8.1C を使用している場合は、これらの機能を使用することはできませんので、マニュアル中のこれらの記述については、読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	章
マルチデータベースコネクション: アプリケーションは複数のデータベースに接続することが可能になりました。またデータベースコネクションは、実行時にエンドユーザがデータベースにログインして初期化することができます。	<i>ACCELL/SQL: Product Enhancements for Release 8.2</i>	1
ダイナミック SQL: アプリケーションは、実行時に SQL 文を構成、実行することが可能になりました。SQL 文は、準備され、実行できます。これによって多くの柔軟性が提供され、ユーザ入力をもとにしてあらゆるタイプの DML,DDL 文が作成できるようになります。	<i>ACCELL/SQL: Product Enhancements for Release 8.2</i>	2

---

## Release 8.1C での新機能と変更点

以下のテーブルは、ACCELL/SQL Release 8.1C で追加された機能と、その機能に関するマニュアル中の記載箇所を示したものです。ACCELL/SQL Release 7.0 から 8.1B を使用している場合は、これらの機能を使用することはできませんので、マニュアル中のこれらの記述については、読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
ACCELL/RPT は、Unify RPT レポートライタと irs ツールが強化され、複数フォーマットでのレポート生成が可能になりました。	新マニュアル : <i>Unify RPT/ Web: Creating Reports with RPT/Web</i>	
ACCELL/WEB ユーザ固有プロパティファイルで、特定のユーザの実行時環境をカスタマイズすることが可能になりました。	<i>ACCELL/Web: Building ACCELL/Web Applications</i>	user-specific properties file  -mdir -pdir (ADMN 新引数)
実行時に、作業ディレクトリを設定し ACCELL/ Web アプリケーションを配置することができるようになりました。	<i>ACCELL/Web: Building ACCELL/Web Applications</i>	ACCELL. WorkingDirectory
標準の ACCELL/SQL 商品とは別に ACCELL/Web development のライセンス許可ができるようになりました。	なし	

## Release 8.1B での新機能と変更点

以下のテーブルは、ACCELL/SQL Release 8.1B で追加された機能と、その機能に関するマニュアル中の記載箇所を示したものです。ACCELL/SQL Release 7.0 から 8.1A を使用している場合は、これらの機能を使用することはできませんので、マニュアル中のこれらの記述については、読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
ACCELL/Web APP2JSP コンバージョンユーティリティは、ACCELL/SQL アプリケーション全体（リンクされたアプリケーションファイルをもとにした）を変換できます。以前のバージョンでは、Q2JSP ユーティリティを使用してアプリケーションをフォームレベルで変換するのみでした。	ACCELL/Web: Building ACCELL/Web Applications	APP2JSP  conversion file
ACCELL/Web デバッガが強化されました。	ACCELL/Web: Building ACCELL/Web Applications	Accell.DebugTTY
ACCELL/WEB で、JSP に対するフォーム固有の変更を損なわずに ACCELL/Web アプリケーションのルック&フィールだけを変更することができるようになりました。	ACCELL/Web: Building ACCELL/Web Applications	-f (APP2JSP、 Q2JSP の 新引数)

## Release 8.1A の新機能と変更点

以下のテーブルは、ACCELL/SQL Release 8.1A で追加された機能と、その機能に関するマニュアル中の記載箇所を示したものです。ACCELL/SQL Release 7.0 から 8.0 を使用している場合は、これらの機能を使用することはできませんので、マニュアル中のこれらの記述については、読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
2つの64ビット numeric データタイプ： HUGE INTEGER、CURRENCY をサポート	<i>ACCELL/SQL: Configuration Variable and Utility Reference</i>	UAMOUNT64 UNUMERIC64
ACCELL/SQL 7 及び 8.0 は、内部的に DOUBLE (LAGRGE FLOAT タイプ) を使用しているために、長い桁のカラムを追加するときは 15 桁の有効桁以下で丸め誤差が発生します。ACCELL/SQL 8.1 では金額情報が丸め誤差なしに使用可能となります。RPT を使って多数のレコードからデータを集計するとき、これは特に重要です。	<i>ACCELL/SQL: RDBMS Integration</i>  <i>ACCELL/SQL: Writing Form Scripts</i>  <i>ACCELL/SQL: Localizing an Application</i>	HUGE INTEGER CURRENCY  HUGE INTEGER CURRENCY  HUGE INTEGER CURRENCY
Unicode をサポート	<i>ACCELL/SQL: Configuration Variable and Utility Reference</i>	DBCHARSET LANG
EU では、アプリケーションが加盟国の全てのキャラクタセットをサポート可能であることが要求されますが、それは Unicode の使用で実現可能となります。これにより、作成したデータベースが世界中の全ての言語でサポートできるようになります。DataServer のこれ以前のバージョンでは、データベースのヘッダに ロケールを格納しているのでドイツ語、あるいはフランス語というような 1 つの言語のみが使用可能です。		
XML をサポート	<i>Unify DataServer: SQL/A Reference</i>	AS XML
XML ファイルへの SELECT の出力、及び XML ファイルからの UPDATE が可能となりました。	<i>Unify DataServer: RHLI Reference</i>	XML xml_ptr

## Release 8.0 での ACCELL/Web 新機能

ACCELL/Web プロダクトが ACCELL/SQL プロダクトファミリーに新しく追加されました。ACCELL/Web は、既存の ACCELL/SQL アプリケーションから自動的に Web アプリケーションを生成することを可能とします。ACCELL/Web により、既存資産を有効に活用できます。同じ ACCELL/SQL アプリケーションコードを実行する Web アプリケーションを迅速かつ簡単に構築し、またシングルコードベース（キャラクタ）のアプリケーションも平行して運用することが可能です。

ACCELL/Web に関する詳細は、「*ACCELL/Web: Building ACCELL/Web Applications*」マニュアルに記載されています。

## Release 7.2 の新機能と変更点

Release 7.2 の新機能の一部は、既存の Unify アプリケーションをグラフィック・アプリケーションの Web に移行したいという顧客からの要望によって拡張されたものです。そして、そのための 1 つのオプションが追加されました。また特定の新機能も要求され、機能は拡張されました。

以下のテーブルは、ACCELL/SQL Release 7.2 で追加された機能と、その機能に関する Unify DataServer: Product Enhancements for Releases 7.1 and 7.2 マニュアル中の記載箇所を示したものです。ACCELL/SQL Release 7.0 から 7.1 を使用している場合は、これらの機能を使用することはできませんので、マニュアル中のこれらの記述については、読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
既存のアプリケーションの GraphOn、Tarantella システム、Citrix により提供されるクライアントテクノロジーを使用した Web へ移行する。	この新しいプラットフォームに対するドキュメントはありません。使用したい場合は、Unify コンサルティングに連絡して下さい。	
新しいコンフィギュレーション変数 USTRBCHARS、UTXTBCHARS により ACCELL マネジャーの画面フィールドで STRING および TEXT フィールドに不必要な文字を誤って入力することを避けることができます。	ACCELL/SQL: <i>Configuration Variable and Utility Reference</i>	USTRBCHARS UTXTBCHARS

## Release 7.0B の新機能と変更点

以下のテーブルは、ACCELL/SQL Release 7.0B で追加された機能と、その機能に関するマニュアル中の記載箇所を示したものです。ACCELL/SQL Release 6、もしくは 7.0A を使用している場合は、これらの機能を使用することはできませんので、マニュアル中のこれらの記述については、読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
ACCELL マネジャーで 日付データを区切り文字なしに入力することが可能となりました。	<i>ACCELL/SQL: Configuration Variable and Utility Reference</i>	DATEFMT
あいまいな日付（CENTURY_CUTOFF コンフィギュレーション変数で定義された 100 年の範囲外）は、DATEFMT の指定に関係なくすべて 4 桁年として表示されます。たとえ他の日付が 2 桁年だけを表示するフォーマットに設定されていても、すべて 4 桁年として表示されます。	<i>ACCELL/SQL: Configuration Variable and Utility Reference</i>	DATEFMT
WP4DIGITYEARS コンフィギュレーション変数	<i>ACCELL/SQL: Configuration Variable and Utility Reference</i>	WP4DIGIT-YEARS <sup>1</sup>

1. 「WP4DIGIT-YEARS」と表記されていますが、実際のコンフィギュレーション変数は「WP4DIGITYEARS」です。